

燃えよ！熱い本！

～読書でやる気に火をつけよ～

夏真っ盛り!! 夏バテになっていませんか? これだけ暑いと、何に対してもやる気がおきないもの。しかし、そんなことは言っていられない! というあなたの“やる気の導火線”に火をつけるような本を、我々図書館スタッフがご紹介いたします。

ジーク・信玄

チヨイス!!



“自分の夢は娘の幸せ”という平凡なサラリーマン・鈴木さんが築いてきた幸せな家庭は、一人娘に怪我を負わせた不良エリート高校生の暴力によって簡単に壊された……。

自分の人生でこんな事が起こるなんて想像もしていなかった鈴木さん。それでも、謎のオチボレ高校生軍団「ザ・ゾンビーズ」の助けを借り、愛する娘のため、そして無力だった自分から生まれ変わるため、かの高校生とのタイマンに挑む!

勝つための過酷なスボ根トレーニングシーンはもちろんのこと、後半からラストの対決の日にはむけての手に汗握る盛り上がりは、心も身体も熱くさせてくれるはず。読み終わった後、どうぞ登場人物と一緒に「うおーっ!」と叫んで下さい!



「フライ、ダディ、フライ」
金城 一紀著
角川書店
JFカ
篠崎ほか所蔵

風雲ふわふわ丸

チヨイス!!



「武士道といふは死ぬ事と見付けたり」のフレーズで有名な「葉隠」をモチーフにした時代小説。主人公の斎藤左之助は毎朝目覚めると、様々な自分の死を想定することで、生への執着がない「死人」となる生粋の葉隠武士です。この物語では、そんな左之助を始めとする葉隠武士たちが、鍋島藩という様々な問題を抱えた、取り潰しの危機にある藩のために駆け回り回ります。奔放苛烈な「死人」ゆえに、問題解決法も痛快の一言! 初めてこの本を読んだ時、私は登場人物たちのあまりの熱さに、衝撃を受け、このうたと生きている自分が恥ずかしくなりました。是非、皆さんもこの衝撃を体験して下さい。



「死ぬことと見つけたり」
上・下巻
隆慶一郎著
新潮社
BFリ 1~2
篠崎ほか所蔵

愛燦燦

チヨイス!!



熱い本といって思い浮かべたのが「深夜特急」。インドのデリーからイギリスのロンドンまで乗り合いバスで行く、ユーラシア放浪二万キロの旅の様子は、「バックパッカーのバイブル」と言われ、圧倒的人気で大ベストセラーとなりました。既に作品の発表から長い年月が経ち、旅の事情もずいぶん変わってしまいましたが、それでも今読み返すと、旅に出たときの高揚感や熱さがとてもよく伝わってきて、自分も旅に出てみたいくなります。特に面白いのは第一巻! 旅の始まりのワクワク、ドキドキが感じられ、デリーに行く前に立ち寄った香港の熱気や喧騒の描写は、まるで自分がそこにいるかのような臨場感を味わえます。何回読んでも、決して色褪せることのない最高のノンフィクションです。



「深夜特急」
1~6巻
沢木 耕太郎著
新潮社
B915サ 1~6
篠崎ほか所蔵



「夜間飛行」

サン=テグジュペリ著
堀口 大學訳
新潮社
B953サ
篠崎ほか所蔵



自分の人生を賭け、熱意を持ってできる仕事に従事している人は幸せですな。この小説に出てくる人物たちは皆、そういう人たちだ。主人公のリヴィエールは、当時不可能とされていた夜間定期郵便飛行を行っているブエノス・アイレス基地の主任だ。彼は部下に対して厳格であり、能力の最大限を要求するが、他面「部下を愛したまえ、ただ彼らにそれと知らさずに愛したまえ」という主義を持つている。一方、部下たちも、そんな彼の期待に応えようと全力を尽くして様々な危険を乗り越え、業務を遂行していくのである。

どんな困難にも負けることなく、信念を持ち、闘い続ける彼らの姿は、きつとあなたの心を熱くすることでしょうな。

そのほかにも...

書名	著者	出版社	請求記号	所蔵
燃えよ剣 上・下	司馬 遼太郎	新潮社	BFシ1~2	篠崎ほか
風が強く吹いている	三浦 しをん	新潮社	BFミ	篠崎ほか
製鉄天使	桜庭 一樹	東京創元社	Fサ	篠崎ほか

そのメロディーに魅せられて

“レッチリ”ことレッド・ホット・チリ・ペッパーズは、ファンク、ヒップホップ、メタルを融合したミクスチャーロックの旗手として走り続け、テンションの高いファンキーな曲から、哀愁漂うメロウな曲まで演奏する“世界最強”と呼ばれるバンドです。

今回ご紹介するのは、レッチリがロックの聖地ハイ

CD「ライヴ・イン・ハイド・パーク」 レッド・ホット・チリ・ペッパーズ

請求記号: G1レ/03175 所蔵館: 篠崎



パークで行ったライブの様子を収録したものです。ライヴアルバムだけに選曲はベスト的な要素があり、かつアドリブあり、カバー曲ありと、レッチリの魅力が凝縮されたアルバムとなっています。

レッチリファンはもちろん、レッチリを知らない人も、今年の夏はこのアルバムを聴いて熱くなりましょう！

スタッフのセクション！ 第13回

「千一夜物語 マルドリュス版」 豊島 与志雄〔ほか〕訳
岩波書店 1~13巻 929セ1~13 篠崎所蔵

篠崎図書館で働くスタッフがほとんど個人的趣味で選んだおすすめ本を紹介します。今号は、Pちゃん
が選んだアラビアの華麗な物語です。

ズバリ！おもしろいですよ！ 表紙を飾る絵からして、あやしげな雰囲気が漂い、異国情緒たっぷりです。ページをめくると、とたんに異文化世界へダイブ。目の前には、アラブの街並みが広がり、「ペルシャ市場にて」のようなアラビア系の音楽が聞こえ始める。

皆様ご存知のあの「開けゴマ」の話やシンドバットの冒険はもちろんのこと、天女の羽衣にそっくりな物語や、この部屋だけは絶対に開けてはいけないと言われていた部屋を開けてしまった話など、誰もが一度は耳にしたことのあるお話が続々と登場し、これぞ物語の原点！ という感じです。

私が一番おもしろいと思ったのは…と言っても、物語がたくさんありすぎて、それぞれおもしろかったので、選ぶのが大変なのですが、読み終わった後、印象に残っていたのは次の4つの物語です。1つ目は、自分が犯人になりたくないからと、死体をたらい回しにして、他人に罪をなすりつけようとする物語です。道徳的には問題大ありますが、物語とし

て読む分にはおもしろかったです。2つ目はジン(魔人)とジンジニア(女魔人)が、お互いに見つけた美男、美女のどちらがより美しいかを競う物語です。3つ目は、双子のようにそっくりな王子と王女の物語。4つ目は、空飛ぶ馬の人形の物語です。それぞれがどんな風にもおもしろかったのかは、ぜひ読んでみて下さい。

全13冊とかなりの長編ですが、その分読みごたえ十分。どっぷりと物語の世界にひたれますよ。今回ご紹介したのはマルドリユス版ですが、このマルドリユスという方は当時の作家や詩人たちに「言葉の魔術師」と絶賛されていたそうです。はしがきにも「アラビアの原典の面影を最も完全に伝え、最も信頼できるものとされている」と書かれていました。篠崎図書館にはバートン版もあります。こちらは、今日でも「千一夜物語」の模範的訳書として珍重されているようです。マルドリユス版とバートン版は世界的定訳としてあげられているようなので、次回はバートン版にチャレンジしてみようかと思っています。